

2024 年 5 月 22 日 全 8 頁

Indicators Update

2024 年 4 月貿易統計

自動車輸出の回復が鈍く 輸出金額はやや期待外れの結果に

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

[要約]

- 2024 年 4 月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+8.3%と 5 カ月連続で増加したものの、コンセンサス（同+11.0%、Bloomberg 調査）を下回った。自動車輸出の回復の鈍さが一因とみられる。輸出金額全体の季節調整値は前月比+0.9%と 2 カ月連続で増加した。他方、輸入金額は前年比+8.3%と 2 カ月ぶりに増加した。中東情勢の緊迫化や円安の進行もあって一部のエネルギー品目の輸入金額が上振れした。輸入金額全体の季節調整値は前月比▲0.5%と 3 カ月ぶりに減少した。貿易収支は▲4,625 億円と 2 カ月ぶりの赤字となり、季節調整値では▲5,608 億円と 35 カ月連続の赤字となった。2023 年央以降、交易条件の改善が足踏みしていることもあって貿易赤字の縮小は停滞している。
- 4 月の輸出数量は前月比+0.9%と 2 カ月連続で増加した。シリコンサイクル（世界半導体市場に見られる循環）の回復を背景に半導体等製造装置が増加したほか、小幅ながら自動車が増加した。自動車は一部メーカーの認証不正問題により国内生産が停滞していたが、供給体制は 4 月中におおむね正常化しており、この影響が部分的に表れた。地域別に見ると、米国向け（同▲2.4%）は減少した一方、EU 向け（同+0.4%）やアジア向け（同+0.6%）が増加した。
- 先行きの輸出数量は年後半にかけて増加基調に転じるとみている。米国向け輸出は底堅く推移しており、需要の軟調さが続いてきた欧州では年後半にかけて成長率が加速する見込みだ。またシリコンサイクルが明確に回復していることから、半導体関連財の輸出増も見込まれる。ただし、日本の輸出管理の強化によって中国などに向けた先端技術分野の輸出が減少するリスクには引き続き注意が必要だ。

【貿易金額】中東情勢の緊迫化や円安の影響もあって貿易収支の改善が停滞

2024年4月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+8.3%と5カ月連続で増加したものの、コンセンサス（同+11.0%、Bloomberg調査）を下回った（図表1）。乗用車（同+19.1%）の伸び率が、認証不正問題の影響が本格的に表れる直前の2023年12月（同+38.8%）に比べて低水準にとどまったことが一因とみられる。輸出金額全体の季節調整値は前月比+0.9%と2カ月連続で増加した。輸出の実勢を表す輸出数量（大和総研による季節調整値、以下同）の増加が寄与した（図表2左）。

輸入金額は前年比+8.3%と2カ月ぶりに増加した。原油及び粗油（同+13.1%）や振れの大きい航空機類（同+293.7%）などが押し上げた。また液化天然ガス（同+12.5%）は13カ月ぶりに増加した。中東情勢の緊迫化による商品価格の高騰に加え、税関長公示レートが同14.7%の円安に振れたこともあって、このところの一部のエネルギー品目の増加が目立つ。他方、石炭（同▲22.5%）は12カ月連続で減少した。季節調整値で見た輸入金額は前月比▲0.5%と、輸入価格が下落に転じたことで3カ月ぶりに減少した。

以上を受けて貿易収支は▲4,625億円と2カ月ぶりの赤字となり、季節調整値では▲5,608億円と35カ月連続の赤字となった（図表3）。2023年央以降、交易条件の改善が足踏みしていることもあって貿易赤字の縮小は停滞している（p.6）。

図表1：貿易統計の概況

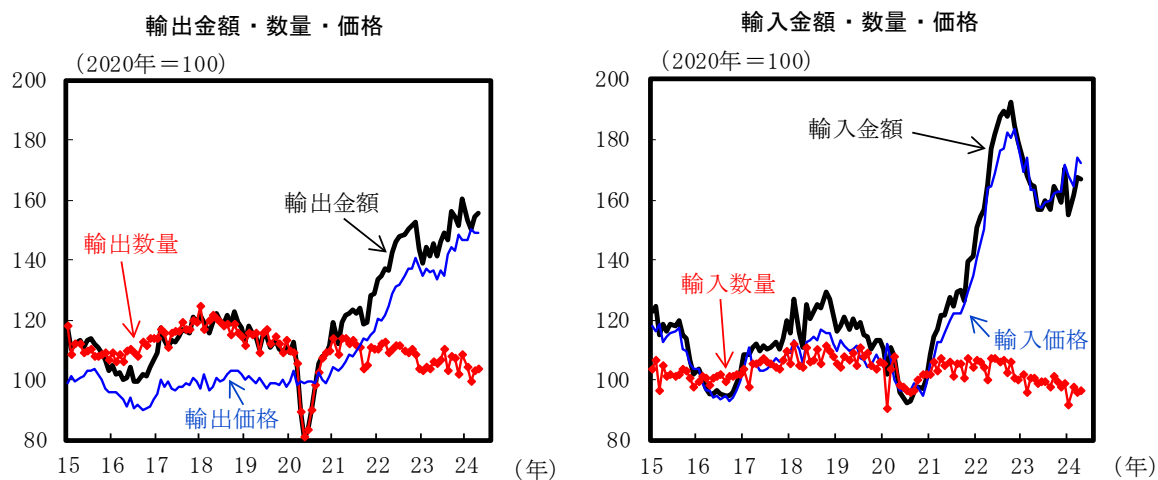
		2023年					2024年					
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月		
原系列 前年比 %	輸出金額	▲0.8	4.3	1.6	▲0.2	9.7	11.9	7.8	7.3	8.3		
	コンセンサス									11.0		
	DIRエコノミスト予想									11.7		
	輸入金額	▲17.7	▲16.5	▲12.4	▲11.8	▲6.8	▲9.7	0.6	▲5.1	8.3		
	輸出数量	▲5.3	0.2	▲3.4	▲5.6	2.9	2.3	▲1.5	▲2.1	▲3.2		
	価格	4.8	4.1	5.2	5.8	6.6	9.4	9.5	9.6	11.8		
	輸入数量	▲9.1	▲3.9	▲3.2	▲3.4	▲3.1	▲8.4	1.3	▲9.6	0.7		
	価格	▲9.5	▲13.1	▲9.5	▲8.8	▲3.8	▲1.4	▲0.8	5.0	7.6		
貿易収支(億円)	▲9,401	606	▲6,682	▲7,883	589	▲17,665	▲3,830	3,870	▲4,625			
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	▲1.5	6.3	▲1.1	▲1.7	5.6	▲4.4	▲1.8	2.6	0.9		
	数量	▲6.4	4.6	▲0.6	▲5.0	6.7	▲4.1	▲4.3	3.3	0.9		
	価格	5.3	1.6	▲0.5	3.5	▲1.0	▲0.3	2.6	▲0.7	▲0.0		
	輸入金額	▲1.6	4.8	▲1.3	▲1.9	7.0	▲9.0	4.2	3.8	▲0.5		
	数量	▲1.9	3.4	▲1.7	▲1.9	1.3	▲7.0	6.5	▲1.8	0.5		
	価格	0.3	1.4	0.3	0.0	5.6	▲2.2	▲2.2	5.7	▲0.9		
	貿易収支(億円)	▲5,019	▲4,069	▲3,831	▲3,603	▲5,000	▲326	▲5,585	▲6,819	▲5,608		
	税関長公示レート	142.23	146.44	148.88	150.34	146.92	143.95	148.18	149.45	151.66		

（注1）税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

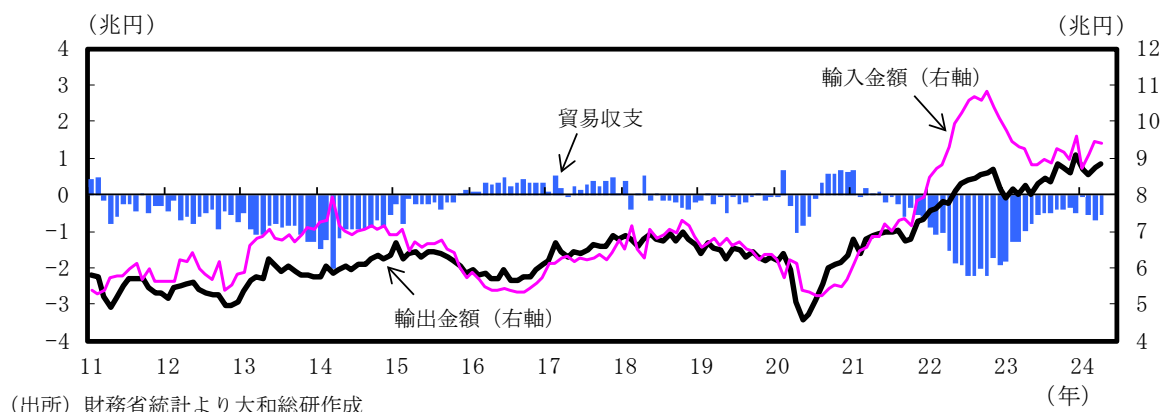
（注2）数量と価格の季節調整値は大和総研による。

（出所）財務省、Bloombergより大和総研作成

図表 2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



図表 3：輸出、輸入、貿易収支（季節調整値）



【輸出数量】国内供給体制の正常化もあって自動車輸出が小幅に増加

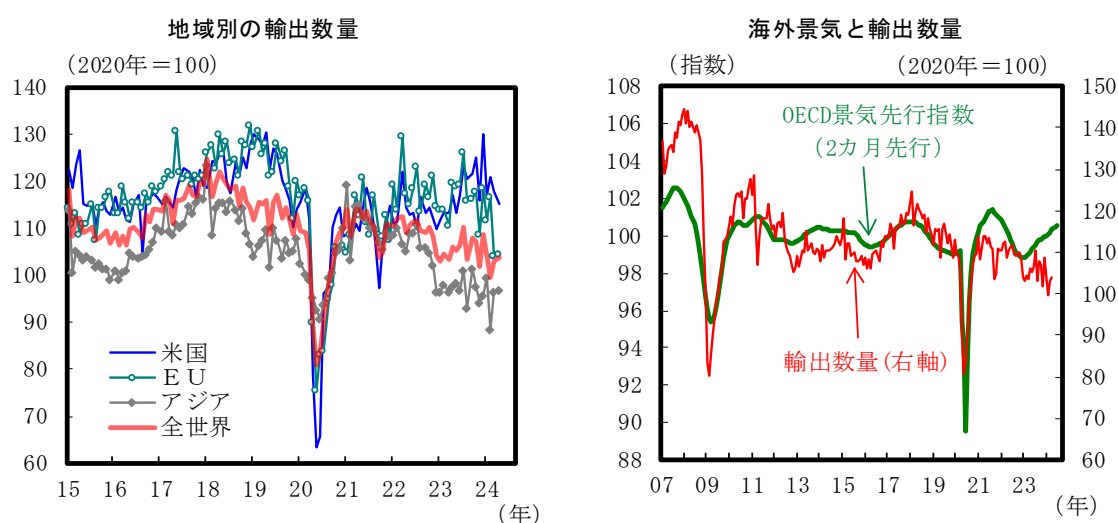
4月の輸出数量は前月比+0.9%と2カ月連続で増加した。シリコンサイクル（世界半導体市場に見られる循環）の回復を背景に半導体等製造装置が増加した。また自動車も輸出数量を押し上げたものの、その程度は限定的だった。自動車は一部メーカーの認証不正問題により国内生産が停滞していたが、4月中に供給体制がおおむね正常化した影響が部分的に表れた。地域別に見ると、米国向け（同▲2.4%）は減少した一方、EU向け（同+0.4%）やアジア向け（同+0.6%）が増加した。

米国向けは2カ月連続で減少した。自動車や同部分品、エンジンを含む原動機、鉄鋼、非鉄金属など自動車に関連する財が幅広く減少した。2023年中は半導体不足の解消による自動車関連財の挽回輸出が進んでいたが、足元ではその影響の剥落が顕著だ。他方、前月に大幅に減少した医薬品では反動増が見られた。

EU向けは2カ月ぶりに増加した。振れの大きい鉄鋼が大幅に増加したほか、自動車や非鉄金属などが増加に転じた。欧州では最大の工業国であるドイツで景気回復の兆しが見られ、ユーロ圏全体の鉱工業生産指数（除く建設）は1月を底に回復基調にある。生産活動の持ち直しで鉄鋼や非鉄金属などの中間財需要が拡大している可能性がある。その他の品目では、映像記録・再生機器や二輪自動車などが増加した。

アジア向けは2カ月連続で増加した。中国向け（前月比▲2.5%）では集積回路（IC）や鉄鋼が振るわなかったものの、アジア全体で見れば自動車や同部分品、原動機などの自動車関連財が増加して中国向けの不調を補った。また、半導体等製造装置は前月に急増した中国向けが高水準を維持したほか、その他の地域向けは増加した。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はG20ベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

【見通し】底堅い米国の内需や欧州経済の回復を背景に輸出数量は増加基調へ

先行きの輸出数量は年後半にかけて増加基調に転じるとみている。米国向け輸出は底堅く、需要の軟調さが続いてきた欧州では年後半にかけて成長率が加速する見込みだ。また世界半導体販売額に見るシリコンサイクルが明確に回復していることから、半導体関連財の輸出増にも期待できる。ただし、日本の輸出管理の強化によって中国などに向けた先端技術分野の輸出が減少するリスクには引き続き注意が必要だ¹。

輸出の先行きを地域別に見ると、米国向けは当面は横ばい圏で推移するとみている。米国の1-3月期の実質GDP成長率は前期比年率+1.6%と前期（同+3.4%）から鈍化したが、消費や設備投資、住宅投資から成る民需（同+3.1%）は底堅く、日本からの輸出数量は比較的高水準にある（**前掲図表 4 左**）。2024 年後半にかけても米国のプラス成長の継続が日本の輸出を下支えするだろう。ただし、米連邦準備制度理事会（FRB）が利下げを実施しても景気浮揚効果の発現には半年程度のタイムラグを伴う傾向がある。仮に年内に利下げが開始された場合でも、米国の成長率や日本の輸出数量が急激に上振れする可能性は低い。

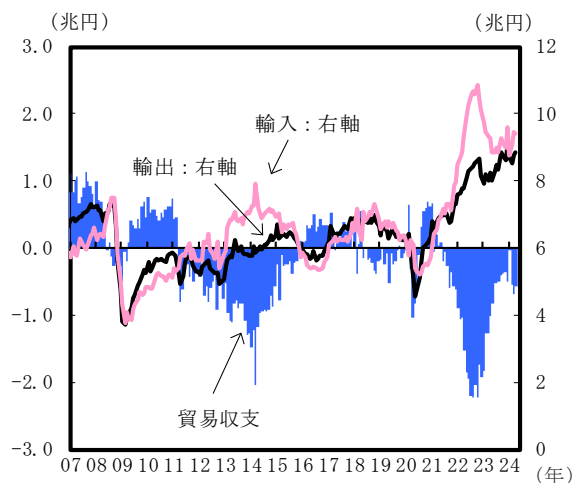
欧州向け輸出はこのところ減少基調にあるものの、年後半に底を打つとみている。ユーロ圏経済は2023 年後半に2 四半期連続のマイナス成長（テクニカル・リセッション）に陥ったが、24 年1-3 月期の実質GDP 成長率は前期比年率+1.3%とプラスに転じた。特に、このところ欧州経済の足を引っ張ってきたドイツがプラス成長に復したことは安心材料だ。またユーロ圏の4 月の消費者物価指数（HICP）は前年比+2.4%と2 カ月連続の2%台前半となり、欧州中央銀行（ECB）の目標である2%へと近づいている。これを受けて6 月にも ECB による利下げが開始されるとみられ、年後半にかけては成長率が加速する下で日本からの輸出の減少傾向に歯止めがかかるとみている。

中国向けは緩やかな回復基調を辿るとみている。中国政府と中国人民銀行は5 月17 日にそれぞれ不動産不況への対応策を発表した。各都市が打ち出してきた住宅需要刺激策や1 兆元規模の超長期特別国債などの効果もあって、内需の回復が日本からの輸出を押し上げるだろう。もっとも、その回復ペースは緩やかなものにとどまる可能性がある。新築住宅や中古住宅の価格は2022 年前半から下落が続いており、不動産不況の長期化リスクが高まっている。当面は政策が内需に与える効果を注視する必要があるだろう。

¹ 経済産業省は2024 年4 月26 日に量子関連技術や一部の半導体等製造装置といった先端分野での輸出管理強化の省令改正案を公表した（<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDDETAIL&id=595124053>）。

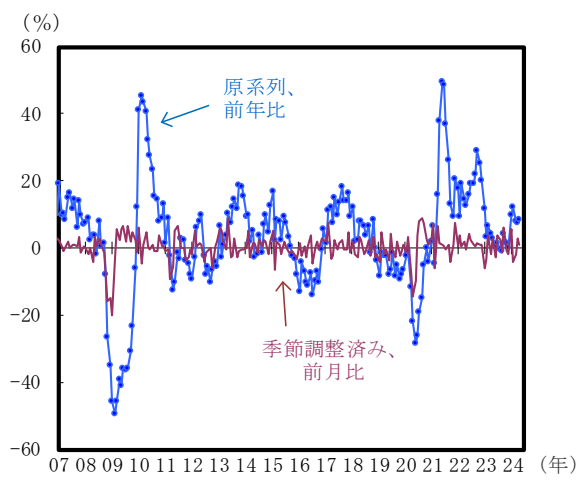
概況

輸出入と貿易収支（名目、季節調整値）

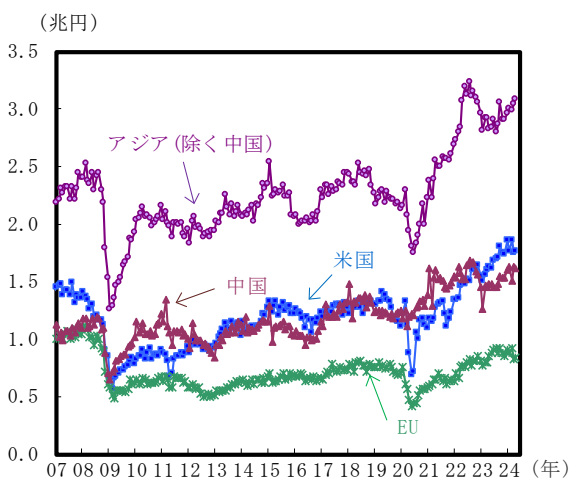


(出所) 財務省統計より大和総研作成

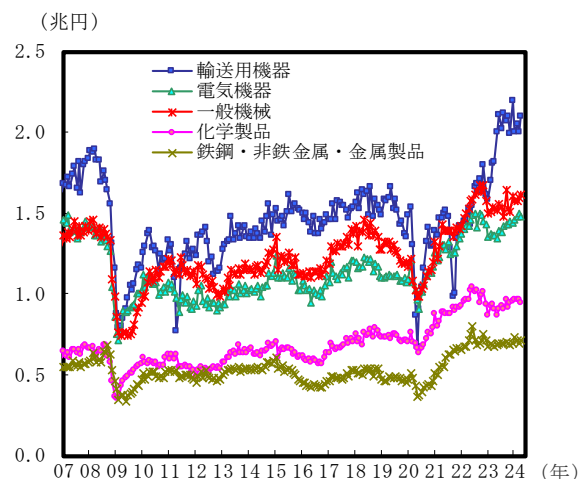
輸出額の変化率（名目）



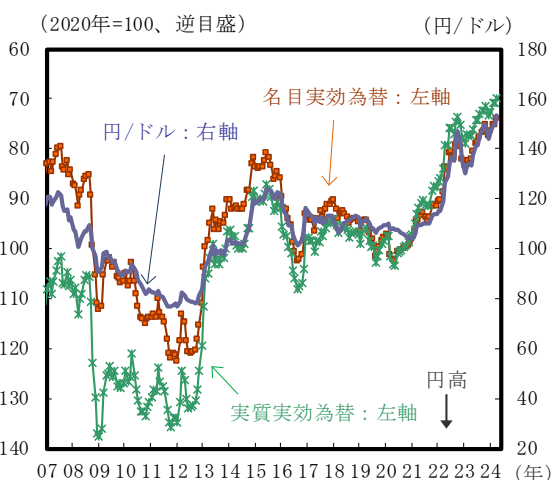
主要地域・国別の輸出額（名目、季節調整値）

(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

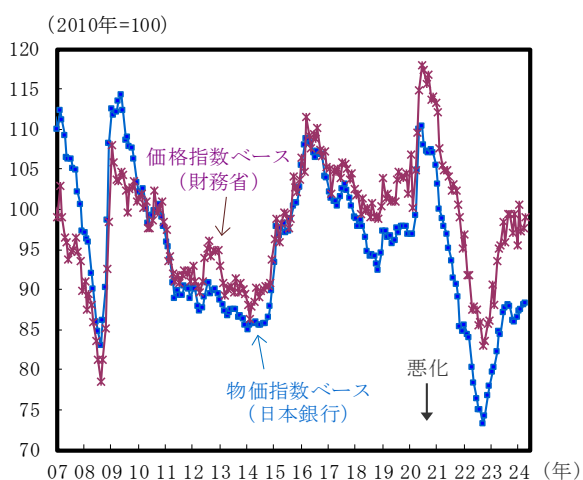
主要商品別の輸出額（名目、季節調整値）



為替相場

(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数（輸出物価指数/輸入物価指数）。輸出入価格指数の直近値は大和総研による試算値。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2023/11	2023/12	2024/01	2024/02	2024/03	2024/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲0.2	9.7	11.9	7.8	7.3	8.3	100.0	8.3
食料品	▲12.8	▲5.8	14.3	▲5.6	▲5.4	▲6.7	1.1	▲0.1
原料品	5.5	27.0	18.5	21.8	6.9	17.8	1.7	0.3
鉱物性燃料	▲2.0	▲21.6	▲32.6	▲35.3	▲5.4	16.6	1.4	0.2
化学製品	▲6.6	1.8	11.2	4.3	3.8	3.3	11.2	0.4
原料別製品	▲6.1	▲0.3	8.2	4.6	2.5	6.1	11.2	0.7
鉄鋼	▲11.6	▲6.4	7.2	▲0.1	▲3.6	▲2.4	4.0	▲0.1
非鉄金属	▲7.7	0.3	7.6	7.1	5.2	17.7	2.5	0.4
金属製品	3.5	6.8	10.3	9.9	9.6	9.3	1.4	0.1
一般機械	▲10.2	2.0	5.2	3.7	3.9	5.8	18.2	1.1
電気機器	▲0.4	1.2	7.6	7.7	9.9	8.5	16.1	1.4
半導体等電子部品	6.9	0.7	8.3	6.4	11.3	20.4	5.4	1.0
I C	13.7	5.6	11.4	10.6	15.7	30.0	4.0	1.0
映像機器	▲11.8	▲3.6	20.8	17.0	14.1	▲1.4	0.3	▲0.0
映像記録・再生機器	▲5.3	3.3	12.3	20.8	4.0	▲1.4	0.3	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲4.7	▲2.7	3.9	▲1.1	▲0.4	0.5	0.2	0.0
電気回路等の機器	▲12.4	▲6.9	▲4.4	▲0.9	1.5	1.1	2.0	0.0
輸送用機器	11.3	36.6	24.1	20.1	10.3	15.9	23.7	3.5
自動車	16.3	35.9	31.6	19.8	7.1	17.8	17.6	2.9
自動車の部分品	9.8	13.6	22.1	22.6	13.6	6.9	3.8	0.3
その他	5.2	11.4	20.3	7.0	14.6	5.4	15.4	0.9
科学光学機器	▲3.3	7.4	15.6	9.5	10.5	▲1.3	2.5	▲0.0

米国向け輸出金額 内訳								
	2023/11	2023/12	2024/01	2024/02	2024/03	2024/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	5.3	20.2	15.6	18.4	8.5	8.8	100.0	8.8
食料品	33.6	22.7	8.7	31.2	21.2	20.5	1.0	0.2
原料品	▲30.0	▲17.3	▲14.4	▲15.3	▲3.8	2.0	0.4	0.0
鉱物性燃料	▲15.9	19.1	51.2	▲87.6	▲59.8	▲55.2	0.1	▲0.2
化学製品	▲6.8	22.5	22.3	7.1	▲12.9	▲13.1	6.5	▲1.1
原料別製品	▲1.6	▲0.2	▲1.4	7.7	4.3	5.2	6.7	0.4
鉄鋼	▲29.3	▲8.5	▲7.7	▲5.6	▲2.3	4.5	1.4	0.1
非鉄金属	▲6.9	▲22.2	▲29.6	▲10.5	▲4.4	▲4.6	0.9	▲0.0
金属製品	16.2	21.1	6.8	31.7	34.2	21.1	1.6	0.3
一般機械	▲7.2	6.4	5.4	11.2	8.7	1.3	23.1	0.3
電気機器	▲1.8	4.3	1.4	15.6	10.9	0.1	12.5	0.0
半導体等電子部品	▲1.0	0.1	2.5	11.0	2.0	2.4	1.2	0.0
I C	10.9	21.5	7.3	26.0	9.8	▲6.0	0.6	▲0.0
映像機器	▲15.9	▲8.6	▲6.5	▲17.0	▲7.4	▲28.6	0.3	▲0.1
映像記録・再生機器	▲3.5	3.8	26.2	31.4	18.4	▲28.6	0.3	▲0.1
音響・映像機器の部分品	32.4	71.6	57.5	17.2	15.7	14.6	0.2	0.0
電気回路等の機器	▲5.2	0.3	3.0	13.4	11.6	5.8	1.3	0.1
輸送用機器	20.4	40.7	36.5	36.9	15.2	25.5	37.6	8.3
自動車	19.0	39.8	32.7	31.8	9.6	26.0	29.9	6.7
自動車の部分品	24.2	35.9	43.6	57.7	47.1	20.6	5.8	1.1
その他	8.3	24.3	12.4	9.6	9.3	7.0	12.0	0.9
科学光学機器	▲1.9	21.7	5.3	15.0	10.1	3.2	2.5	0.1

EU向け輸出金額 内訳								
	2023/11	2023/12	2024/01	2024/02	2024/03	2024/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲0.0	10.3	13.8	14.6	3.0	▲2.0	100.0	▲2.0
食料品	2.1	21.7	5.8	12.8	29.6	18.8	0.8	0.1
原料品	▲0.0	13.4	41.4	30.1	13.4	41.2	1.2	0.3
鉱物性燃料	▲6.4	▲76.9	95.4	▲50.1	▲16.8	▲29.2	0.0	▲0.0
化学製品	▲5.7	8.7	▲2.7	13.6	20.0	1.9	10.9	0.2
原料別製品	▲25.5	▲3.5	▲6.9	7.9	▲8.3	13.2	9.3	1.1
鉄鋼	▲46.3	▲7.8	18.2	▲6.2	▲32.3	44.8	3.4	1.0
非鉄金属	▲27.9	▲23.1	▲53.0	▲8.0	▲34.3	▲23.7	1.0	▲0.3
金属製品	▲1.3	5.7	9.5	21.9	10.2	5.8	1.3	0.1
一般機械	▲18.6	▲15.6	▲4.7	▲3.8	▲4.4	▲17.8	18.5	▲3.9
電気機器	▲3.8	4.4	3.1	7.7	7.8	▲6.1	15.5	▲1.0
半導体等電子部品	11.2	5.1	7.2	▲1.3	7.1	▲17.0	1.9	▲0.4
I C	6.6	▲4.2	▲7.8	▲15.2	2.3	▲28.2	0.6	▲0.2
映像機器	▲27.2	▲11.6	3.6	▲8.8	▲17.5	▲17.5	0.7	0.2
映像記録・再生機器	▲20.4	▲9.8	29.5	7.6	▲3.3	34.8	0.7	0.2
音響・映像機器の部分品	▲3.3	▲43.3	5.7	21.1	0.4	27.8	0.1	0.0
電気回路等の機器	▲14.2	0.8	▲3.2	▲3.7	▲3.2	▲15.7	1.4	▲0.3
輸送用機器	25.4	53.8	59.0	41.1	1.1	▲0.7	27.4	▲0.2
自動車	35.8	75.3	83.5	51.3	2.5	7.4	19.9	1.3
自動車の部分品	21.3	56.4	72.4	38.5	4.8	▲8.7	4.2	▲0.4
その他	3.1	14.6	11.1	12.5	6.4	9.6	16.5	1.4
科学光学機器	▲6.5	11.8	18.3	15.2	4.7	10.1	5.3	0.5

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2023/11	2023/12	2024/01	2024/02	2024/03	2024/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲4.1	3.0	13.5	2.3	6.6	9.7	100.0	9.7
食料品	▲21.1	▲13.3	16.0	▲16.0	▲14.8	▲16.0	1.3	▲0.3
原料品	8.8	31.5	18.0	21.4	6.1	15.9	2.7	0.4
鉱物性燃料	26.8	▲14.2	▲34.1	▲21.0	8.6	60.3	1.8	0.8
化学製品	▲6.8	▲2.5	15.1	1.3	4.8	5.6	15.2	0.9
原料別製品	▲7.3	0.1	12.4	3.7	2.4	8.9	13.8	1.2
鉄鋼	▲14.4	▲7.3	2.3	0.1	▲3.7	▲2.5	5.0	▲0.1
非鉄金属	▲2.5	4.1	23.0	7.8	6.6	25.1	4.0	0.9
金属製品	▲0.7	4.8	20.2	3.2	6.0	8.7	1.4	0.1
一般機械	▲11.0	5.3	11.5	0.5	2.6	11.7	18.0	2.1
電気機器	▲0.2	▲0.1	9.8	3.7	8.8	13.2	20.8	2.7
半導体等電子部品	7.4	0.5	8.7	5.9	11.7	24.1	9.3	2.0
I C	14.0	5.2	11.7	10.4	16.0	33.6	7.2	2.0
映像機器	▲12.6	▲2.0	27.4	33.6	26.8			
映像記録・再生機器	▲4.2	12.3	▲2.6	16.3	▲2.1	▲7.1	0.3	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲15.5	▲1.8	7.5	▲5.4	1.2	9.3	0.3	0.0
電気回路等の機器	▲14.8	▲9.7	▲6.0	▲5.3	▲2.1	2.2	2.8	0.1
輸送用機器	▲3.5	28.0	23.3	1.9	12.5	20.8	8.7	1.6
自動車	11.3	45.5	53.5	10.3	22.2	28.5	5.3	1.3
自動車の部分品	1.0	3.2	2.6	▲0.4	▲7.5	▲0.0	2.4	▲0.0
その他	▲0.1	2.3	25.2	3.8	13.2	1.8	17.6	0.3
科学光学機器	▲1.6	1.8	21.4	6.2	12.8	▲6.4	2.5	▲0.2

中国向け輸出金額 内訳								
	2023/11	2023/12	2024/01	2024/02	2024/03	2024/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲2.2	9.5	29.2	2.5	12.6	9.6	100.0	9.6
食料品	▲60.3	▲46.7	▲22.2	▲58.8	▲56.2	▲56.8	0.7	▲0.9
原料品	14.0	36.9	47.8	11.7	20.6	26.9	3.4	0.8
鉱物性燃料	87.5	50.6	64.9	▲30.9	27.7	▲7.5	0.6	▲0.1
化学製品	▲8.2	▲2.2	27.3	▲0.5	3.1	6.2	17.5	1.1
原料別製品	▲3.2	1.4	27.0	▲2.3	10.6	15.4	11.4	1.7
鉄鋼	▲14.5	▲13.1	▲0.6	▲6.5	21.1	2.4	2.5	0.1
非鉄金属	13.5	11.1	51.1	2.6	7.9	31.4	4.2	1.1
金属製品	▲6.6	2.3	30.8	▲3.2	11.3	6.4	1.5	0.1
一般機械	6.1	33.8	34.1	17.4	20.0	20.5	24.5	4.6
電気機器	▲9.8	▲7.1	9.7	0.0	6.0	7.4	20.5	1.5
半導体等電子部品	▲15.9	▲22.0	▲6.7	▲4.3	▲1.6	17.0	6.9	1.1
I C	▲21.9	▲29.2	▲17.2	▲7.0	▲6.7	21.8	4.9	1.0
映像機器	▲18.3	▲13.9	24.3	38.5	51.0			
映像記録・再生機器	▲16.1	17.6	▲51.2	28.9	1.4	▲10.6	0.4	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲34.0	▲20.8	▲8.7	▲36.2	▲23.0	▲10.1	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲12.5	▲4.9	▲0.2	▲6.3	▲1.5	5.9	3.1	0.2
輸送用機器	14.2	54.8	80.4	24.4	46.8	22.5	8.0	1.6
自動車	18.2	78.7	111.4	22.5	120.6	36.0	5.5	1.6
自動車の部分品	6.6	15.4	29.4	22.5	▲12.1	▲3.4	2.2	▲0.1
その他	▲7.9	▲1.4	39.9	▲12.7	16.3	▲4.3	13.4	▲0.7
科学光学機器	▲0.8	8.9	37.0	1.6	27.6	12.9	3.5	0.4

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成